



*祈りの禁 (10月)

海老名教会に繋がっている方々へ
共にお祈りを合わせましょう！

・み言葉：ルカによる福音書 10 章 2 節 讃美歌：21 - 510

「そして、彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい」

主イエスは 12 弟子の他に七十二人を任命し、ご自身が行くつもりすべての町や村に二人ずつ先に遣わされました。そして、彼らに言われます。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主願いなさい」。

神の国に招き入れなければならない人は多いが働き手が少ない、だから、先ず求めなさいと言われます。働き手は神様が送ってくださるからです。そして、行きなさいと命じられます。狼の群れに小羊が行くような、試練と苦難の道であっても、福音伝道のために、主の御守りを信じていかなければならないのです。これは、当時の人だけに命じられた主のお言葉ではなく、今の私たちにも命じられていることです。

私たちも神の国のための働き手を祈り求めましょう。そして、インマヌエルの主の約束を信じて伝道の業に励みましょう。収穫の主が働き手を与えてくださり、実り豊かな収穫を迎える喜びがありますように。

<祈りの課題>

1. 海老名教会に具体的な主の幻が与えられますように。
2. 教会員一人一人が守られ、働き人としての使命を果たすことができますように。そして、その伝道の業が実り豊かなものでありますよう祈りましょう。
3. 教会学校の子どもや新来者のために祈りましょう。
4. 病床にいる人々、看病をしている家族のために祈りましょう。
5. コロナの中であるこそ、多くの方々が礼拝に来られますように。主の御守りと助けを祈りましょう。
6. ミッションスクールの働きが祝され、学生たちがその若い日に主を覚えることができますように。希望が与えられますように。
7. コロナ・ウイルスの試練の中、治療のために奮闘している医療従事者や関係者たちのために祈りましょう。コロナの試練の中で家族を失い、仕事を失っている人々のために祈りましょう。

